

阿久比一期一会荘だより

〒470-2212

知多郡阿久比町大字卯坂字桜ヶ丘 195 番地

介護老人福祉施設 阿久比一期一会荘

TEL : 0569-47-0205 FAX : 0569-47-0208

令和 4 年 1 月号



新年のご挨拶

阿久比一期一会荘 荘長 政井宏之



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は格別のご支援を賜り、誠に有難うございました。

さて、新型コロナウイルスの感染が国内で確認されてから 2 年が経ちました。愛知県の新規感染者数も、12 月後半には 1 日あたり 10 人を下回る水準で落ち着いております。しかし、年末年始における人流の増加、新たな変異株であるオミクロン株の動向等、感染症のリスクは依然として続いております。また、3 回目のワクチン接種につきましても、方法や時期等が現時点では確定しておらず、しばらくは基本的な感染防止対策の徹底を継続していく必要があります。皆様には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、引き続きのご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

ところで、私の実家がある岐阜県飛騨地方では、冬を迎える前に「雪囲い(ゆきがこい)」が行われます。雪囲いとは、積雪や屋根からの落雪による家屋の倒壊を防ぐため、木材や板等を使って建物を囲うことを言います。実家では、玄関周りに 15 本程、3メートル超の丸太を屋根から地面に向かって立て掛けた後、横方向に 3 段、丸太をロープで固定しながら柵を組み上げ、最後に波型トタンを固定して雪囲いを作っております。重い丸太を持ち上げ、何本もロープで縛りあげる作業はなかなかの重労働ですが、この作業が終わると、これでようやく冬を迎えられるとホッとできます。

この雪囲いの準備は、豪雪地帯では必要な冬の営みであり、この時季の当たり前の風景として、地元では日常に溶け込んでおります。実家を離れ、たまに手伝う私には大変な作業なのかもしれませんが、地元の方にとっては、長く厳しい冬を乗り越えた、その先にある暖かな春を心待ちにするための準備になるのかもしれません。今、世の中は新型コロナウイルスによる閉塞感に覆われ、厳しい状況(「冬」)が続いております。しかし、3 密の回避やマスクの着用、手指消毒等の基本的な感染防止対策は、その先にある終息(「春」)を待つための必要な営みであると捉え、皆様と共に長く厳しい冬を乗り越えていきたいと思っております。

末筆ではございますが、皆様のご健康とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



特別養護老人ホーム



クリスマス会

クリスマスまでの間、ツリーやサンタの帽子で季節の飾りを楽しみました。各フロアのクリスマス会では、職員がサンタやトナカイの恰好で雰囲気盛り上げ、皆様の笑顔を見ることができました。また、ホールケーキを購入し、いつもより豪華なおやつを召し上がっていただきましたが、「美味しいね」とおっしゃる方が多くみえました。



オンライン面会・窓ガラス越し面会

1月も引き続きオンライン面会と窓ガラス越し面会を実施致します。1月の日程につきましては、別途案内を郵送させていただいておりますので、確認をお願い致します。オンライン面会にお越しの際は、玄関にある消毒液で手指の消毒とマスクの着用、面会シートの記入をお願い致します。窓ガラス越し面会については、ご利用者様は建物内、ご家族様は建物外で窓ガラスを挟んで対面し、携帯電話を使用して面会をしていただきます。ご家族様は建物外での面会となりますので、暖かい格好でお越しください。別紙の案内を確認のうえ、ご予約いただきますようお願い致します。

1月の予定

11日(火)	ご馳走の日	昼食	12:00~
21日(金)	移動理美容室	玄関前	9:30~

「密閉・密集・密接」を避けるため、集団で大きな声を出すようなレクリエーションや行事は全て中止させていただきます。

少人数での散歩、喫茶花林や売店のデリバリーを利用し、個別で対応させていただきます。

感染症の状況をみながら活動の再開を検討して参ります。

窓ガラス越し面会の様子



窓ガラス越しとなりますが、ご家族様の姿が目前で確認できるため、皆様、とても嬉しそうな表情をされています。今後の面会については、緩和に向けて随時検討を進めておりますので、ご理解とご協力をお願い致します。

作品作り デイサービス

本格的に寒さが厳しくなってきた 12 月、デイサービスでは年末や年明けに向けて様々な作品作りを行ないました。最初にご紹介するのはクリスマスツリー作りです。緑・白・黒の色画用紙の中から好きな色を選んでツリーを作り、スパンコールや丸めたお花紙で飾りを付けました。『うちに飾るね!』と喜んでいただけました。



次にご紹介するのは年賀状作りです。干支であるトラが印刷されたハガキに、水彩絵の具や色鉛筆で色を付けました。他にも無地のハガキにお花紙をちぎって貼り、思い思いのトラの形に仕上げました。それぞれ個性が光っています。

最後にご紹介するのはトラのカレンダー作りです。フェルトを台紙の上に手順通りに貼っていきます。同じ型から同じように切り取った材料で作るのですが、目や口元、模様の置き方で表情が変わります。作った人によく似ているという不思議な現象がみられました。



忘年会

毎年デイサービスが年末年始の休みに入る前の 2 日間、1 年間の感謝を込めて、忘年会と称したレクリエーションを行なっています。以前は紅白歌合戦に倣ってスタッフ出演のカラオケで盛り上がっていましたが、このご時世ですので、『スタッフクイズ』と『2021 年ビンゴ』をそれぞれ 1 日ずつ行ないました。普通、ビンゴはマスに数字が書かれたものですが、こちらは 2021 年にあった出来事のワードをご利用様に好きなマス目に入れていただき、お手製のビンゴ表を作成します。その年の出来事を振り返りながら記入していただきたいのですが、マスを埋めるのについ必死になってしまいます。景品は全員にご用意しておりますが、早くビンゴになった人がより大きく、良い商品となるため、『ビンゴ!』の掛け声を発した方に大注目!! 拍手に包まれながら景品を取りに来ていただきました。皆様さっそく中身を確認して、楽しんでくださっていました。





ケアハウス



ケアハウス年間おやつレク



今年もコロナ禍で、外出企画の出来ない状況が続きました。
お部屋からあまり外に出られないご利用者様に、季節の味や雰囲気を感じていただこうと思い、沢山の「おやつレク」を行いました。

5月は子供の日になみ柏餅、7月、8月はかき氷、10月はハロウィンになんでハロウィンパンなど、季節感のあるおやつを召し上がっていただきました。もちろん、ケアハウス畑で収穫された野菜も、じゃがいもはポテトチップス、さつまいもは鬼まんじゅうや芋ようかん、かぼちゃはかぼちゃプリンなどにしました。ご利用者様に「今年1番美味しかったおやつは何ですか」とお聞きすると、「いっぱい食べ過ぎて、何を食べたか覚えていないわ」との言葉が返って来ました。ご利用者様からの「美味しかったよ」の言葉に救われながら、職員は企画を練って取り組みました。また来年も、ご利用者様に喜んでいただけるおやつを、リクエストもお聞きしながら提供していきたいと思っています。



クリスマス忘年会

12月24日のクリスマスイブに、クリスマス忘年会を開催しました。今までの形式にはこだわらず、進行や時間配分などを十分に考慮しながら行いました。

ケアハウスの忘年会はお刺身会食が定番になっていましたが、今回は厨房さんからのクリスマスメニューの食事に変更し、昼食前にはクイズ、ビンゴゲーム大会などを行いました。クイズは3択だったこともあり、かえって頭を悩ませるご利用者様もおみえでした。また、ケアハウスのお誕生日会、お楽しみ会はビンゴゲームが付きものでしたが、コロナ禍で行事が出来ていなかったため、久しぶりのビンゴゲーム大会は大いに盛り上がり、プレゼントもお渡ししました。プレゼントは荘長からお一人お一人にお渡しし、「メリークリスマス」と一言添えることも出来て良かったです。今年一年、皆様が健康でいられたことに感謝し、来年も良き年になることを願ってクリスマス忘年会を締めくくることが出来ました。

